

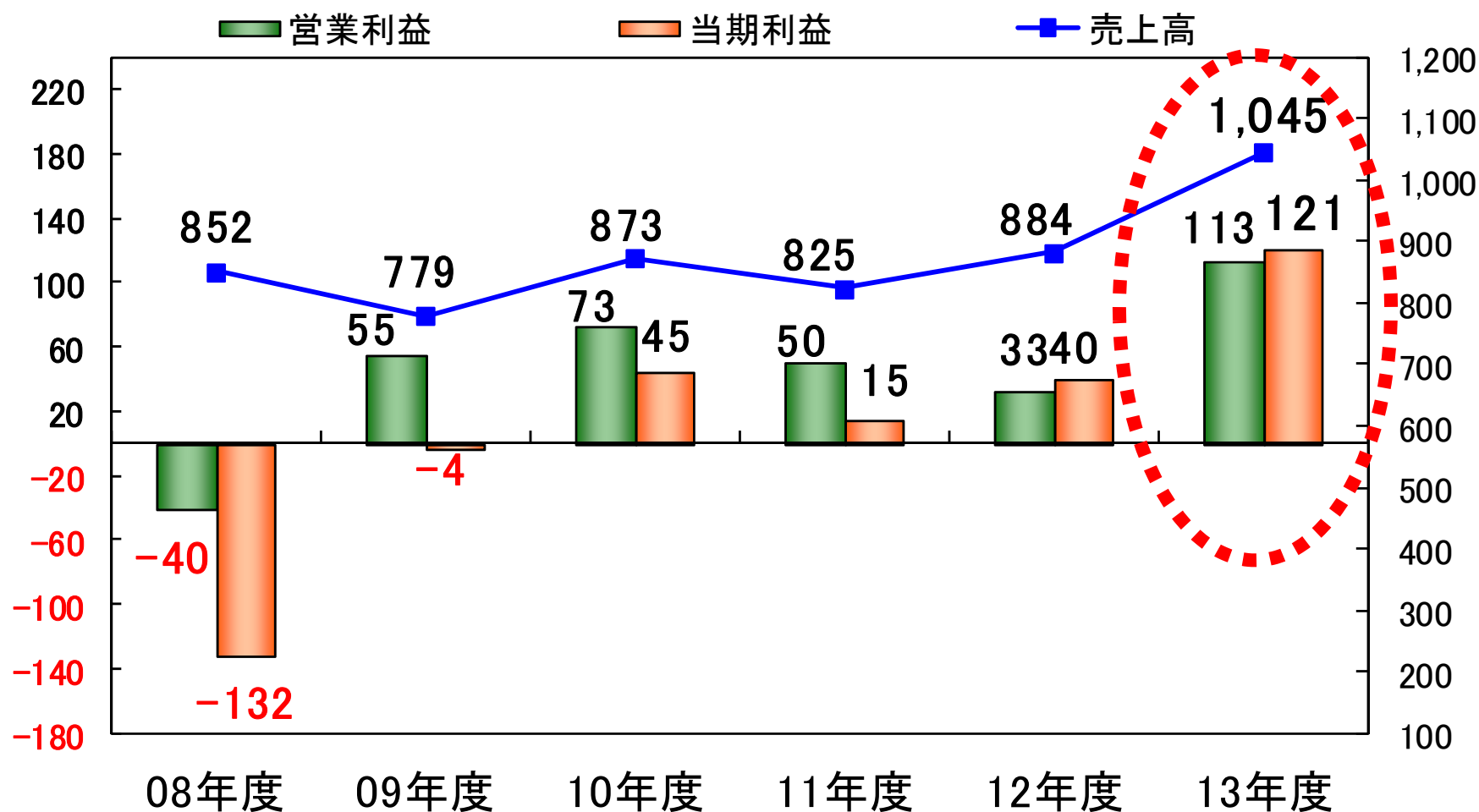
高収益持続に向けて

～次代の新電元を創造する～



➤ 前期(中期経営計画1年目)振り返り

過去最高益を更新!!



➤ 前期(中期経営計画1年目)振り返り

デバイス事業

- ・販売台数拡大や車の電子化により面実装ダイオードが好調に推移。
- ・企業の設備投資が緩やかに上昇局面に転じ、産機市場向けが伸長。
- ・パワーモジュール事業への開発投資を実施。

電装事業

- ・インドネシアを中心に二輪市場向けECU(電子制御ユニット)が大幅に増加。
- ・北米向け四輪車用電装製品の海外生産を開始。
- ・インドに新工場を建設(新電元インド)。新興国進攻に向けた体制を強化。

新エネルギー事業

- ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度を背景に太陽光発電向けパワーコンディショナが大幅に拡大。
- ・蓄電システム等、新エネルギー分野の開発を強化。

➤2014年度 方針

高収益を“持続”させる体制作り

～恒常的に利益水準を維持できる新事業への転換～

(1) 事業構造転換

(2) 海外進攻(設計・資材のグローバル化)

(3) ICTによる“見える化”

(Information and Communication Technology : 情報通信技術)

➤ 高収益持続のために（当社の強みと目指す姿）

当社のコア技術は、自社の半導体、回路、ソフト
並びに磁性部品を組合わせ、競争力のある低損失
の実装部品を創り上げるものづくり技術

当社は半導体技術と回路技術を併せ持つ稀有なメーカー。
個々の事業の持つ技術を摺り合わせ、あるいは組み合わせて
競争力のある製品を創るものづくり技術が当社のコア技術。



➤ 高収益持続のために（当社の強みと目指す姿）

ものづくり技術

個々の事業の持つ技術を摺り合わせ、あるいは組み合わせて
競争力のある製品を創る



競争力強化

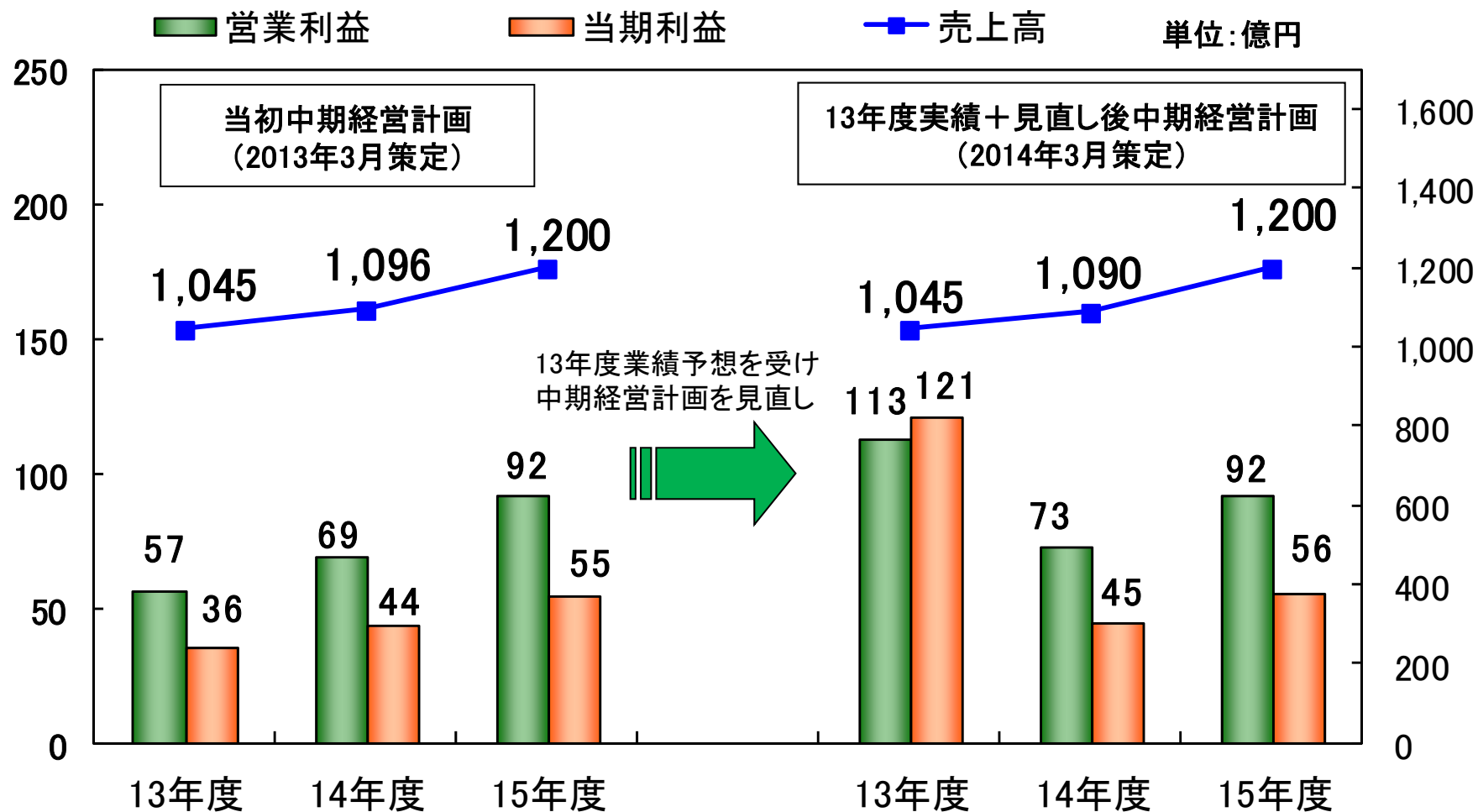
- ✓ 技術力（シナジーの発揮）
- ✓ 高付加価値化
- ✓ 更なる高品質レベルへの挑戦



事業転換

- ✓ モビリティや新エネルギー分野にシフト
- ✓ パワーモジュール事業の拡大
- ✓ 新規事業を伸ばす一方、不採算事業の構造転換も引き続き実行
- ✓ 事業の軸足を国内から海外へシフト

➤ 今後の展望（連結業績）



前期(13年度)は為替相場が円安水準で推移したこと等の外的要因による押し上げもあり大幅な増益となりました。今期業績予想については前期ほどの円安水準を想定していないため減益となっておりますが、当社は中期経営計画に沿った戦略の実行により、当初計画通りに成長路線を歩んでおります。今後もモビリティや新エネルギー分野を中心とした事業拡大に邁進することで収益基盤の更なる強化を図って参ります。

➤最後に

当社の事業ポテンシャル

- ①スマート市場の拡大
- ②モビリティ市場の電気・電子化
- ③海外で遅れていた白物家電や照明

新電元は半導体、回路、ソフト、磁性体を持っていることが強みです。今後も、これらキーテクノロジーを駆使することで、会社の持続的成長に繋げて参ります。

Corporate Mission

「エネルギーの変換効率を極限まで追求することにより、人類と社会に貢献します。」

「为人类和社会的利益，
最大限度提高能源转换效率」

เพิ่มประสิทธิภาพการแปรรูปพลังงาน
เพื่อประโยชน์ของมนุษยชาติและสังคม

Theo đuổi việc tối đa hoá hiệu suất
chuyên hoá năng lượng để công hiến
cho nhân loại và xã hội

Memaksimalkan efisiensi konversi energi untuk
kepentingan kemanusiaan dan masyarakat

Maximizing energy conversion efficiency for
the benefit of humanity and society.